

October 16, 2020

【前日の為替概況】ユーロドル、欧州での行動規制強化を受けて 1.1689ドルまで下落

15日のニューヨーク外国為替市場でユーロドルは下落。終値は1.1708ドルと前営業日NY終値(1.1746ドル)と比べて0.0038ドル程度のユーロ安水準だった。欧州で新型コロナウイルス感染が再拡大し、各国の主要都市が相次いで行動規制の強化に動いていることから域内景気の先行きを懸念したユーロ売りが先行。ダウ平均が一時330ドル超下落したこともリスク・オフのドル買いを誘い、23時30分過ぎに1.1689ドルと9月30日以来の安値を更新した。ただ、ダウ平均が一時プラス圏を回復するなど、米国株が底堅く推移したこともあって、NY中盤以降は下げ渋る展開になった。

トランプ米大統領は追加経済対策の規模について、ムニューシン米財務長官に1.8兆ドルを超える水準を提案するよう指示したと明らかにした。民主党は2.2兆ドル規模を提案している。ムニューシン氏も民主党に歩み寄る姿勢を示したと伝わっており、市場では「選挙前は困難でも選挙後は支援がまとまる」との楽観的な声が聞かれた。一方、米共和党のマコネル上院院内総務は「より大規模な追加景気対策を拒否する。規模は5000億ドルが適切」と述べ、トランプ氏の提案を一蹴。共和党内でも意見が割れている。

ドル円は反発。終値は105.45円と前営業日NY終値(105.17円)と比べて28銭程度のドル高水準だった。対欧州通貨中心にドル高が進んだ流れを引き継いで円売り・ドル買いが進行し、105.49円と日通し高値を付けた。ただ、前日の高値105.52円が目先レジスタンスとして意識されると伸び悩んだ。米国株が底堅く推移したことで、リスク・オフのドル買いが後退したことも影響した。

ユーロ円は小幅ながら4日続落。終値は123.45円と前営業日NY終値(123.53円)と比べて8銭程度のユーロ安水準。ユーロドルの下落につれた売りが先行し一時123.02円と9月28日以来の安値を付けたものの、ドル円が上昇するとユーロ円にも買い戻しが入り123.46円付近まで下げ幅を縮めた。

ポンドは全面安の展開だった。欧州連合(EU)首脳会議が開幕する中、EUからの合意なき離脱への警戒感から全般ポンド売りが先行した。新型コロナ感染拡大に伴う規制再強化で経済活動が停滞するとの懸念もポンドの重しとなった。ポンドドルは1.2891ドル、ユーロポンドは0.9078ポンド、ポンド円は135.77円までポンド安に振れた。ロンドンでは16日深夜からより厳格なロックダウン(都市封鎖)措置が課される見通し。EU首脳は、英国に通商合意を巡る交渉について「今後数週間」継続するように求め、合意に向けて必要な動きを取るよう要請した。一方、英国はEU首脳会議に「驚きと失望」を表明し、対応については明日発表するとした。

【本日の東京為替見通し】ドル円、米株安・米債券安(金利上昇)で底堅い展開か

本日の東京外国為替市場のドル円は、米株安・米金利上昇を受けたリスクオフ地合いで底堅い展開が予想される。

ドル円のオーダー状況は、上値には、テクニカルポイントである一目均衡表・転換線(過去9日間の高値・安値の中心値)105.58円付近の105.50円と105.60円にドル売りオーダー、超えるとストップロス買いが控えている。下値には、一目均衡表・基準線105.13円の下105.00円にドル買いオーダー、本日のNYカットオプション、割り込むとストップロス売りが控えている。

昨日15日は、ジョンソン英首相が設定した英国と欧州連合(EU)との通商交渉の期限だったが、欧州連合(EU)首脳会議で、EU首脳が英国に通商合意を巡る交渉について「今後数週間」継続するように求め、合意に向けて必要な動きを取るよう要請したことで、英国は対応については本日発表すると表明しており、本日の動向に要警戒となる。

新型コロナ景気対策法案に関しては、共和党(1.5兆ドルから1.8兆ドルへ増額)と民主党(2.4兆ドルから2.2兆ドルへ減額)による協議が難航する中、トランプ米大統領がムニューシン米財務長官に1.8兆ドルを超える水準を提案するよう指示したものの、共和党のマコネル上院院内総務が「より大規模な追加景気対策を拒否する。規模は5000億ドルが適切」と述べて、トランプ米大統領の増額提案を一蹴しており、本日も関連ヘッドラインに要警戒となる。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>
特になし

<海外>

- 18:00 ◇ 8月ユーロ圏貿易収支（予想：季節調整前 151 億ユーロの黒字／季節調整済 180 億ユーロの黒字）
- 18:00 ☆ 9月ユーロ圏消費者物価指数（HICP）改定値（予想：前年比▲0.3%）
- 18:00 ☆ 9月ユーロ圏 HICP コア改定値（予想：前年比 0.2%）
- 21:30 ◇ 8月対カナダ証券投資
- 21:30 ◇ 8月カナダ製造業出荷（予想：前月比▲1.4%）
- 21:30 ☆ 9月米小売売上高（予想：前月比 0.7%／自動車を除く前月比 0.5%）
- 22:15 ◎ 9月米鉱工業生産指数（予想：前月比 0.5%）
◇ 設備稼働率（予想：71.9%）
- 22:35 ◎ ブラード米セントルイス連銀総裁、講演
- 22:45 ◎ ウィリアムズ米ニューヨーク連銀総裁、講演
- 23:00 ◇ 8月米企業在庫（予想：前月比 0.4%）
- 23:00 ◎ 10月米消費者態度指数（ミシガン大調べ、速報値、予想：80.5）
- 17日 05:00 ◎ 8月対米証券投資動向
- EU 首脳会議（ブリュッセル、最終日）
- 17日 ニュージーランド総選挙

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

15日 05:13 クオールズ FRB 副議長

「マイナス金利については全く議題に上がっていない」
「マイナス金利は利益よりもコストのほうが高い」

15日 05:21 メルケル独首相

「新型コロナウイルスのパンデミックは深刻な段階」
「これからの数日で我々が行うことは、どのようにしてパンデミックを乗り越えるか決定すること」

15日 06:31 ムニューシン米財務長官

「トランプ米大統領は合意するまで交渉を継続するよ
うにと言っている」
「トランプ政権は新型コロナウイルス支援法案合意の挑
戦をし続ける」
「私とペロシ米下院議長は大幅な妥協を行った」
「明日も継続して話し合うことに同意している」
「特定分野ではまだまだもっとやるべきことがある」
「刺激法案を選挙前に合意するのは難しいが努力して
いる」
「政治が法案成立の邪魔をしている」

15日 07:12 ロウ RBA 総裁

「実質的なインフレ率が持続的に目標範囲内に収まるま
で金利を引き上げることはないだろう」
「少なくとも今後3年間は金利を引き上げることが予想し
ていない」
「雇用の創出こそが最優先」
「政策金利を0.10%に引き下げる可能性がある」

15日 07:20 カプラン米ダラス連銀総裁

「米経済は7-9月期に30%程度の回復になると予想」
「米経済は2020年に2.5%減、2021年に3.5%増の成長
を見込む」

15日 20:23 マーティン・アイルランド首相

「満足できる自由貿易がすべてのEUの人々の関心事」
「EU首脳は人々へ『合意なき離脱』によるショックを与え
ること望まず」
「まだ期限内の合意が可能と考えている」
「合意に達することが重要」
「最終的には交渉延長もある」

15日 21:54 ラマポーザ南アフリカ大統領

「新型コロナウイルスの特別補助金を3カ月延長する」

「インフラ事業を急速に発展させる」

「2年間のエネルギー供給を当てにできる」

「80万人の雇用を創出」

「GDPを10年間にわたって平均3%まで押し上げる」

「4年間で1兆ランドのインフラ・投資を見込む」

「現在の負債を維持し続けることはできない」

「借り入れコストの上昇が経済と社会発展を削ぐ」

15日 22:13 カンリフ BOE 副総裁

「BOEはバランスシート拡大よりも流動性供給のための
方法を模索する必要」

15日 23:14 トランプ米大統領

「喜んで1.8兆ドルを超える刺激策を受け入れる」
「ペロシ米下院議長と何かを行うことは非常に難しい」
「選挙前に合意する可能性もある」
「再選したら所得税を減税する」
「ツイッターが我々のキャンペーンをブロックする可能
性があるのは気が付いているが、大変な裁判になる」
「ムニューシン米財務長官に1.8兆ドルを超える刺激策
を提示するように指示したが、現時点では合意に達して
いない」
「刺激策が好きだ、刺激策が欲しい、刺激策はすでにあ
るべきだ」

15日 23:19 コベニー・アイルランド外相

「EUと英国とは漁業に関して数マイル離れている」
「合意は難しいが可能ではある」

15日 23:40 ラガルド ECB 総裁

「2021年は消費者物価指数がプラスに転じる可能性が
高い」「理事会は為替レートの動向を含むすべての受信
情報を注意深く精査している」

16日 01:38 米共和党のマコネル上院院内総務

「より大規模な追加景気対策を拒否」
「追加景気対策の規模は5000億ドルが適切」
「私が上院議員を説得することができるよりも、トランプ
米大統領の提案している救済案の額はかなり大きい」
「新たな救済支援案が選挙前に通過しなかった場合は、
選挙後になるだろう」

16日 02:07 バルニエ英 EU 離脱・欧州委員会首席交渉
官

「我々は合意のためにできる限りのことをするが、何が
何でもというわけではない」
「集中的な話し合いを今後数週間を続ける」

「英国が EU 市場へのアクセスを希望する場合、公平な競争の場に同意する必要がある」

「合意する見通しはある」

「明日から私は英国と話し、週末にロンドンで交渉する」

「まだ多くの作業を行う必要がある」

16日 02:07 ミシェル欧州理事会常任議長(EU 大統領)

「合意に向けて断固たる決意で一致している」

「交渉が進展していないことを懸念」

「私たちは英国に必要な行動をとるよう要請」

「離脱協定は完全に履行されなければならない」

16日 03:27 バーキン米リッチモンド連銀総裁

「経済の中で製造業を含め力強さを見せているセクターがある」

「2%のインフレは目標であり天井ではない」

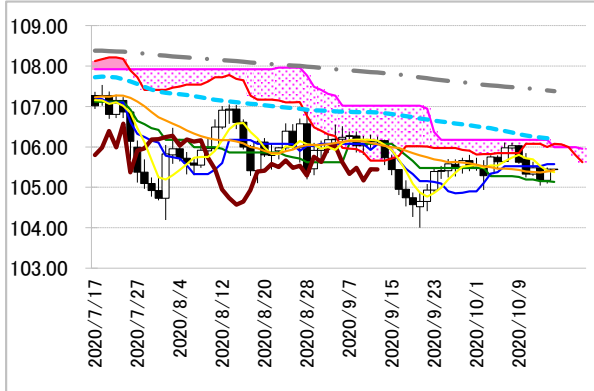
「失業率は依然として高い」

16日 04:22 ペロシ米下院議長(民主党)

「刺激法案は1月までは待たない」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

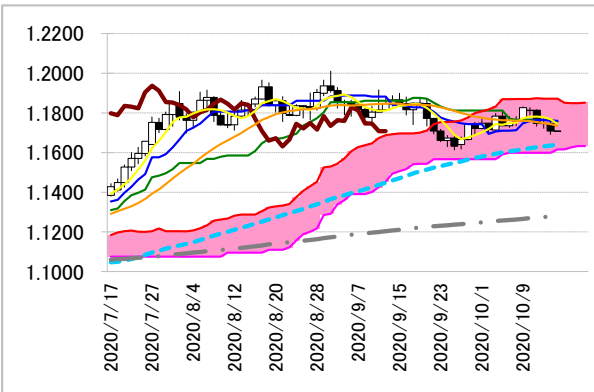


<ドル円=雲の下限を抵抗に売り戻りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回っているものの、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。孕み線で反発したものの、転換線を下回って引けていることで、反落の可能性が示唆されている。

本日は、雲の下限を抵抗に売り戻りスタンスで臨み、同線を上げた場合は手仕舞い。

| | |
|---------|----------------------|
| レジスタンス1 | 105.99(日足一目均衡表・雲の下限) |
| 前日終値 | 105.45 |
| サポート1 | 104.94(10/2 安値) |
| サポート2 | 104.00(9/21 安値) |

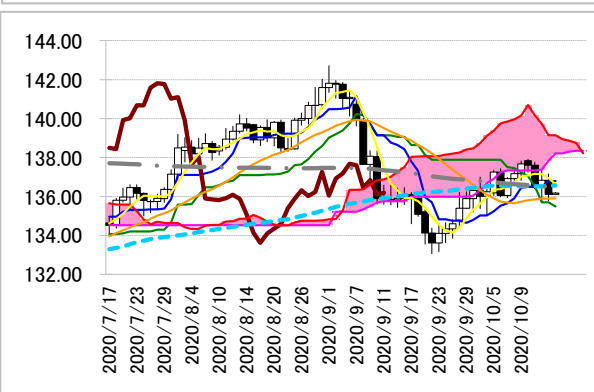


<ユーロドル=転換線を抵抗に売り戻りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の中で引けているものの、転換線を下回って引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。基準線と転換線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に売り戻りスタンスで臨み、同線を上げた場合は手仕舞い。

| | |
|---------|----------------------|
| レジスタンス1 | 1.1760(日足一目均衡表・転換線) |
| 前日終値 | 1.1708 |
| サポート1 | 1.1615(日足一目均衡表・雲の下限) |

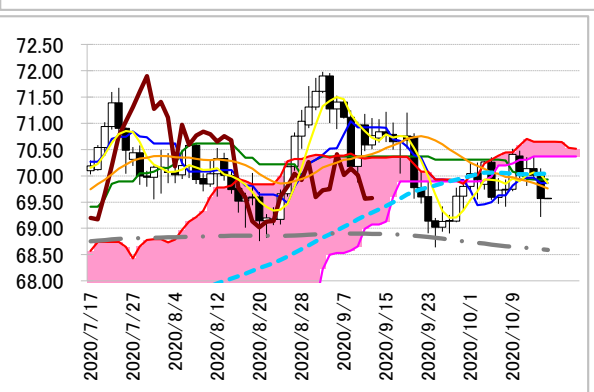


<ポンド円=転換線を抵抗に売り戻りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の下で引けていることで、買いシグナルが優勢な展開となっている。しかし、抱き線で転換線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に売り戻りスタンスで臨み、同線を上げた場合は手仕舞い。

| | |
|---------|---------------------|
| レジスタンス1 | 136.80(日足一目均衡表・転換線) |
| 前日終値 | 136.11 |
| サポート1 | 135.49(日足一目均衡表・基準線) |



<NZドル円=転換線を抵抗に売り戻りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。2手連続陰線で転換線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に売り戻りスタンスで臨み、同線を上げた場合は手仕舞い。

| | |
|---------|--------------------|
| レジスタンス1 | 69.86(日足一目均衡表・転換線) |
| 前日終値 | 69.57 |
| サポート1 | 68.64(9/24 安値) |

